

令和2年度行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	国境離島警備部隊費等			担当部局庁	警備局警備運用部		作成責任者			
事業開始年度	令和2年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	警備第二課		警備第二課長 鎌谷 陽之			
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法37条第1項及び第3項 警察法施行令第2条第1項第7号、第3条第2項及び附則第30条			関係する計画、通知等	-					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沖縄県警察に国境離島警備部隊を設置するとともに、沖縄県警察及び福岡県警察の警察官を増員し、国境離島における事態対処能力を強化するものである。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国が国境離島警備部隊等の活動に必要な装備資機材の整備を図るとともに、沖縄県及び福岡県に対して国境離島警備部隊等の警察官の俸給、被服費等の経費に関し、その所要額を補助するものである。									
実施方法	直接実施、委託・請負、補助									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求			
		補正予算	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-	-					
		予備費等	-	-	-					
		計	0	0	0	2,359	2,546			
	執行額									
	執行率 (%)	-	-	-						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	-	-	-						
	令和2・3年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由					
福岡県警察及沖縄県警察 国境離島警備隊費補助金		1,956	2,181	補助金について、航空機の整備費による増						
警察装備費		338	303							
活動旅費		63	58							
警察通信維持費		1	4							
諸謝金		1	0.2							
計		2,359	2,546							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標	目標最終年度
									- 年度	- 年度
	国境離島における不法上陸事案等の予防鎮圧	国境離島における不法上陸事案等の発生件数	成果実績	件	-	-	-	-	-	-
			目標値	件	-	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	-									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度
									活動見込	活動見込
	国境離島警備部隊等における警備活動従事者数(年間延べ人数)	活動実績	人	-	-	-	-	-	-	-
	当初見込み	人	-	-	-	-	-	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠				単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	
	事業総額/国境離島警備部隊等における警備活動従事者数(年間延べ人数)	単位当たりコスト	千円	-	-	-	-	-	-	-
		計算式	/	-	-	-	-	-	-	-

政策評価 新経済・財政再生計画との関係 2019	政策	5 国の公安の維持							
	施策	1 重大テロ事案等を含む警備犯罪への的確な対処							
	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		国境離島における不法上陸事案等の発件数	実績値	件	-	-	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	-
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	国境離島警備部隊等が警備活動を実施することで、国境離島における事案が抑止されるとともに、当該事案への的確な対処が可能となる。								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		-	成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
達成度			%	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	-	成果実績	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明											
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国境離島における事態対処能力の強化は、国民や社会のニーズを的確に反映している。											
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国境離島の警備は、国家的性格の極めて強い事業であるため、国が所要額を補助する必要がある。											
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、国境離島における事案に対処するための手段として必要かつ適切であり、優先度も高い。											
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-												
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-												
	競争性のない随意契約となったものはないか。													
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-												
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-												
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-												
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-												
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-												
事業の有効性	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-												
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-												
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-												
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-												
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-												
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-												
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-												
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:15%;">所管府省名</th> <th style="width:20%;">事業番号</th> <th style="width:65%;">事業名</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	所管府省名	事業番号	事業名										-
所管府省名	事業番号	事業名												
点検・改善結果	点検結果	-												
	改善の方向性	-												
外部有識者の所見														
点検対象外														
行政事業レビュー推進チームの所見														
現状通り	引き続き、適切かつ効率的な事業実施に努めること。													
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況														
現状通り	特になし。													
備考														

